

第21回日本バイオセーフティ学会 総会・学術集会プログラム

会場：戸山サンライズ（新宿区戸山）

2022年12月5日（月）～12月7日（水） 集合集会とオンライン

12月5日（月）プレカンファレンス 受付：10時30分～ Zoomアクセス：10時30分～

[11:00～17:00] 曝露対応を想定したリスク評価の実践

モデレーター 伊木繁雄（国立感染症研究所）

12月6日（火）総会・学術集会（1日目） 受付：9時00分～ Zoomアクセス：9時30分～

[9:45] 開会 進行 小暮一俊（日立産機システム）

[9:50～10:00] JBSA 総会・学術集会 会長挨拶 篠原克明（信州大学）

[10:00～12:00] 教育講演 バイオセーフティにおけるリスク評価

座長 河合康洋（国立感染症研究所）

10:00～10:40 WHO 実験室バイオセーフティマニュアル第4版におけるリスク評価の考え方と
リスク評価トレーニング 伊木繁雄（国立感染症研究所）

10:40～11:10 JBSA ガイドラインにおけるリスク評価 篠原克明（信州大学）

11:10～12:00 現場対応例紹介：

病原体取り扱い実験室におけるバイオリスク管理研究 黒崎陽平（長崎大学）

高圧蒸気滅菌プログラムの検証について 矢島美彩子（長崎大学）

[12:00～13:10] 休憩：昼食

12:10～12:50 理事会

[13:10～13:40] 総会 進行 学術集会長 篠原克明

[13:40～14:20] JBSA 委員会活動報告 進行 JBSA 理事長 北林厚生

1) バイオセーフティ専門家制度委員会 北林厚生

2) 学術企画委員会 伊木繁雄

3) 国際委員会 篠原克明

4) 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会、NL 編集委員会 杉山和良

[14:20～14:30] 休憩

[14:30～17:30] 特別講演1 我が国における新型コロナウイルス感染症対策I 座長 篠原克明（信州大学）

14:30～15:15 新型コロナウイルス感染症対策の総括（行政的対応を含めて）

賀来満夫（東北医科薬科大学）

15:15～16:00 新型コロナウイルスの変異と病原性

前田健（国立感染症研究所）

16:00～16:45 新型コロナウイルスワクチンの開発

長谷川秀樹（国立感染症研究所）

16:45～17:30 新型コロナウイルス治療薬開発について

渡士幸一（国立感染症研究所）

懇親会：18:00～ 戸山サンライズ

12月7日(水) 総会・学術集会(2日目) 受付:8時30分 Zoomアクセス:9時～

[9:15～11:30] 特別講演2 我が国における新型コロナウイルス感染症対策II

座長 前田健(国立感染症研究所)

9:15～10:15 新型コロナウイルス感染症の拡散 加來浩器、金山敦宏(防衛医科大学校)

10:15～11:00 新型コロナウイルス感染症に対する医療現場の取組み 國島広之(聖マリアンナ医科大学)

11:00～11:30 新型コロナウイルス感染症に対するPPE 篠原克明(信州大学)

[11:30～12:30] 企業プレゼンテーション 座長 榎田順一(イカリストリファーム)

- 1) ATP検査を活用した感染症対策 ニッタエアソリューションズ株式会社 衛藤賢一
- 2) エアゾルを発生させない安全性重視のセルソーター MACSQuant Tyto Cell Sorter
ミルテニーバイオテク株式会社 小川文昭、中山創平、大槻義人
- 3) 簡易陰圧装置、バイオハザード対策用クラスIIキャビネットについて
株式会社日立産機システム 高澤優志
- 4) イカリストリファームが提供する除染サービスなどについての紹介
株式会社イカリストリファーム 新垣雅浩、坂井利夫

[12:30～13:30] 休憩:昼食

[13:30～15:30] シンポジウム

バイオセーフティ専門家の要件・責務・役割:(JBSAにおけるバイオセーフティ専門家教育の紹介)

座長 黒崎陽平(長崎大学)

13:30～14:00 JBSA 実験室バイオセーフティ専門家制度紹介

北林厚生(一般社団法人予防衛生協会、イカリ消毒株式会社)

14:00～14:30 ソフト対応 —WHO LBM 第4版(2020)、ISO35001(2019)について—

杉山和良(国立感染症研究所)

14:30～15:00 ハード対応 坂田保司(株式会社山下PMC)

15:00～15:30 実習紹介 小暮一俊(株式会社日立産機システム)

杉浦彰彦(株式会社イカリストリファーム)

[15:30～15:45] 休憩

[15:45～17:00] 一般演題 座長 大澤一貴(長崎大学)

- 1) BSC使用時のクリーンアップ運転と汚染除去運転 小野恵一(株式会社日立産機システム)
- 2) 沖縄科学技術大学院大学におけるバイオセーフティトレーニングコース構築への取り組み
田中俊憲(沖縄科学技術大学院大学)
- 3) 新型コロナウイルスの不活化に有効な界面活性剤のインフルエンザウイルスに対する不活化効果
伊木繁雄、高木弘隆、花木賢一(国立感染症研究所)
- 4) 二酸化塩素ガスによる安全キャビネットの除染についての検討
朴民龜¹、田中萌²、佐々木雄治²、坂井利夫¹、杉浦彰彦¹(1.株式会社イカリストリファーム、
2.イカリ消毒株式会社)

[17:00] 閉会挨拶 篠原克明(信州大学)

機器展示 [12月6日 10:00~17:00、12月7日 10:00~16:00]

- ・株式会社アゼアス
- ・株式会社イカリストリファーム
- ・株式会社日立産機システム
- ・ニッタエアソリューションズ株式会社
- ・ミルテニーバイオテック株式会社

(50音順)